

## 第 1 回複合施設等整備検討委員会開催概要

### 1 開催概要

- (1) 日時  
平成 30 年 11 月 30 日（月） 午後 1 時 30 分～3 時
- (2) 場所  
本庁舎 3 階 特別会議室
- (3) 出席者  
ア 委員 委員 21 人  
イ 事務局職員 都市整備部、政策部、こども未来部、社会教育部
- (4) 案件  
ア 委員長の選出及び委員長職務代理者の指定について  
イ 複合施設等の整備を検討する区域の整備方針について  
ウ 図書館、（仮称）こども未来館及び市庁舎の基本構想について  
エ 基本計画（案）の構成及び検討スケジュールについて  
オ 今後に向けた意見

### 2 主な質問・意見

- (1) どれくらい先の未来を想定するのか。  
⇒竣工する 7～8 年後の社会にまず必要なものを考えていく。その後は時代の変化にフレキシブルに変更できるような建て方をしていくことで対応していく。
- (2) 3 つの施設は、バラバラに整備するのか。  
⇒それぞれが連携することで相乗効果が生まれてくる施設を考えていく。
- (3) 他の先進市では同じような事例はあるのか。  
⇒3 つの施設が 1 つになる事例は、見たことがない。全国初となるのではないか。
- (4) 図書館、（仮称）こども未来館の規模はどの程度になるか。  
⇒基本計画の中で決定していきたい。
- (5) 複合施設が世の中を先取りしたものになるよう、現段階で考えているものはあるか。  
⇒少なくとも竣工時での最先端の機能はいくつか取り入れていきたい。さらに、将来の科学技術の発展も受け入れられるような施設にしていきたい。
- (6) 高齢者向けの施設としては、どのようなものを考えているか。  
⇒ある年代に特化したものではなく、子どもから高齢者まで、幅広い世代の方にとって使いやすく、居心地が良い場所にしていきたい。
- (7) 今後の高齢化を考慮し、時間帯により利用者の年代が異なることを踏まえ、図書館を始めとする複合施設の空間をどうするかを考えていきたい。
- (8) 新たな施設には、ハンドルの遊びのように、「余裕」が感じられるものを随所に取り入れていくとよいのではないか。
- (9) 公共交通についても、20～30 年先を考えていかなければならない。更なる高齢化を考えると、駅前の在り方は更に重要になってくるだろう。今後の公共交通の在り方も踏まえた議論をしていきたい。
- (10) 交通も施設も、世の中の変化に臨機応変に対応することができるようにしていくことが必要であると考えている。
- (11) 3 つの複合施設の垣根をできるだけ低くして、ファジーに混じり合うような施設にしていったらどうか。公共空間となる広場の作り方が重要になってくると思う。
- (12) 施設をつくるにはまず道路ということ考えてほしい。